

中小企業信用保険法第2条第5項第5号-ハ-①の認定申請について

要件

指定業種に属する事業を行う中小企業者であって、かつ、円高の影響により、原則として最近1か月間の売上高等が前年同月に比して10%以上減少しており、かつ、その後2か月間を含む3か月間の売上高等が前年同期に比して10%以上減少することが見込まれること

※1つの指定業種に属する事業のみを行っている、又は兼業者であって、行っている事業が全て指定業種に属する。

提出書類

法人の場合

1. 認定申請書 2通
2. 売上推移表 1通
3. 最近1か月間の売上が分かる書類 1通
4. 上記3に対応する前年同期から3か月間の売上が分かる書類 1通
5. 理由書（円高と事業活動の縮小などの間に、因果関係を記したもの）1通
6. 商業登記簿謄本（写しでも可） 1通
※3か月以内に取得したもの。

個人の場合

1. 認定申請書 2通
2. 売上推移表 1通
3. 最近1か月間の売上が分かる書類 1通
4. 上記3に対応する前年同期から3か月間の売上が分かる書類 1通
5. 理由書（円高と事業活動の縮小などの間に、因果関係を記したもの）1通
6. 確定申告書、収支内訳書（青色申告決算書）の写し 1部

注意事項：2、3日認定には時間がかかります。

本認定とは別に保証協会では審査があります。

認定権者記載欄		

様式第5 - (ハ) - ①

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (ハ-①)

令和 年 月 日

関市長 尾関 健治 殿

申請者
住 所 _____
氏 名 _____ 印
(TEL) _____

私は、表に記載する業を営んでいるが、円高の影響により(注2)、下記のとおり、_____ (注3)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)

※表には営んでいる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載(当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{B-A}{B} \times 100$$

減少率 _____ % (実績)
円 (注4)

A : 最近1か月間の売上高等

B : Aの期間に対応する前年1か月間の売上高等

(ロ) (イ)の期間を含めた今後3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(B+D) - (A+C)}{B+D} \times 100$$

減少率 _____ % (実績見込み)
円 (注4)

C : Aの期間後2か月間の見込み売上高等

D : Cの期間に対応する前年の2か月間の売上高等

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注2) 本業とは別に、円高の影響による経営の安定の支障について具体的な内容を記載した書面を添付する。

(注3) には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(注4) 企業全体の売上高等を記載。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

商 第 _____ 号
令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定申請書の有効期限：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
関市長 尾関 健治

認定権者記載欄		

様式第5－(ハ)－①

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（ハ－①）

令和 年 月 日

関市長 尾関 健治 殿

申請者
住 所 _____
氏 名 _____ 印
(TEL) _____

私は、表に記載する業を営んでいるが、円高の影響により（注2）、下記のとおり、_____（注3）が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

（表）

※表には営んでいる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載（当該業種は全て指定業種であることが必要）。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等

（イ）最近1か月間の売上高等

$$\frac{B-A}{B} \times 100$$

減少率 _____ %（実績）
円（注4）
円（注4）

A：最近1か月間の売上高等

B：Aの期間に対応する前年1か月間の売上高等

（ロ）（イ）の期間を含めた今後3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(B+D) - (A+C)}{B+D} \times 100$$

減少率 _____ %（実績見込み）
円（注4）
円（注4）

C：Aの期間後2か月間の見込み売上高等

D：Cの期間に対応する前年の2か月間の売上高等

（注1）本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

（注2）本業とは別に、円高の影響による経営の安定の支障について具体的な内容を記載した書面を添付する。

（注3）には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

（注4）企業全体の売上高等を記載。

（留意事項）

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

商 第 _____ 号
令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

（注）本認定申請書の有効期限：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
関市長 尾関 健治

売上推移表

円高の影響後最近1か月の売上及びその後2か月間の売上見込み

(1円単位でご記入下さい)

	月	実績小計 (A)	月	月	見込み小計 (C)	3か月合計 (A+C)
年						
(内訳)	分					
	分					
	分					
	分					

前年同期3か月間の売上

(1円単位でご記入下さい)

	月	実績小計 (B)	月	月	実績小計 (D)	3か月合計 (B+D)
年						
(内訳)	分					
	分					
	分					
	分					

減少率

$$\frac{(B+D)-(A+C)}{B+D} \times 100$$

% (小数点第2位以下四捨五入)

上記売上高に相違ありません

住所

氏名

